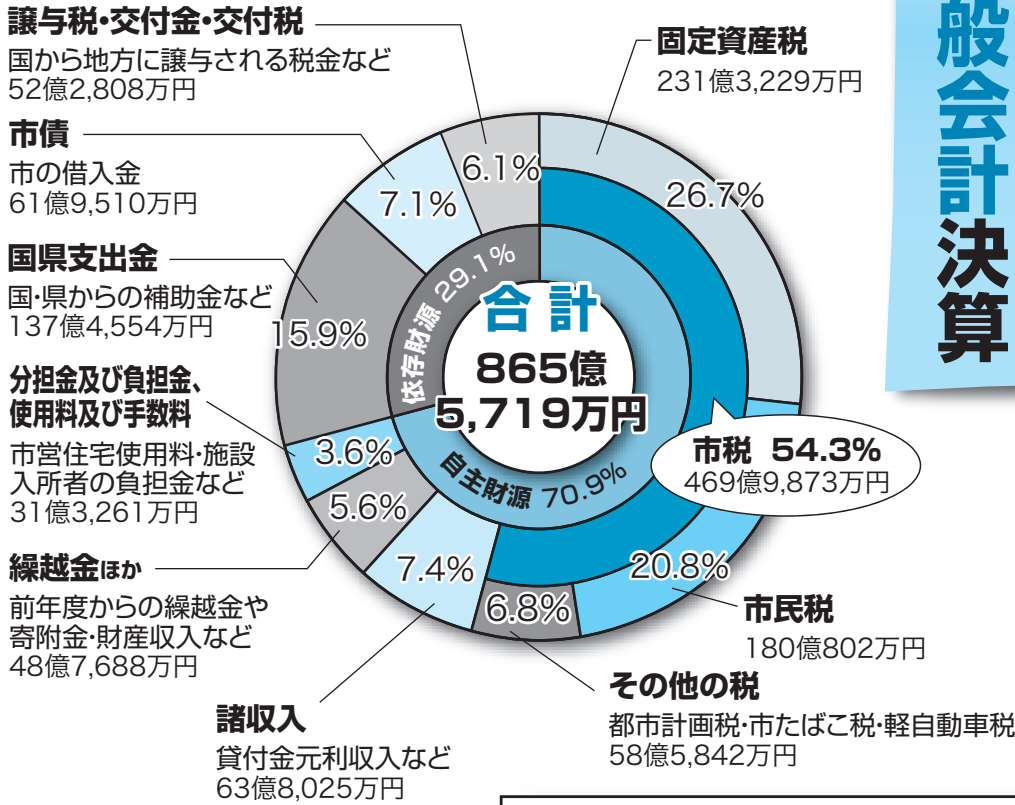


富士市の財政事情をお知らせします

皆さんの納めた税金がこの1年間でどのように使われたのかを確かめてみましょう。

一般会計決算

歳入

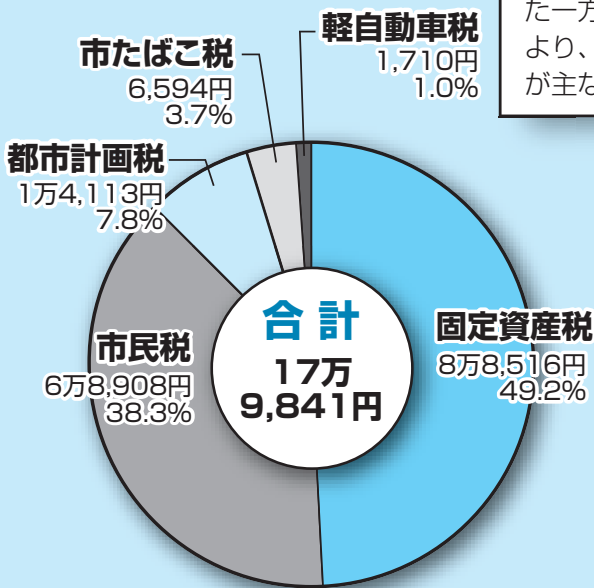


歳入の約5割は皆さんの市税

歳入の約5割を占めるのは、市民や企業の皆さんに納めていただいた市税です。平成22年度の市税の決算額は約470億円で、前年度に比べて約1億円の減少となりました。

これは、法人市民税・固定資産税・都市計画税・市たばこ税などが約14億円増加した一方、景気後退による所得の落ち込みにより、個人市民税が約15億円減少したことが主な要因に挙げられます。

市税収入を市民1人当たりに換算すると…

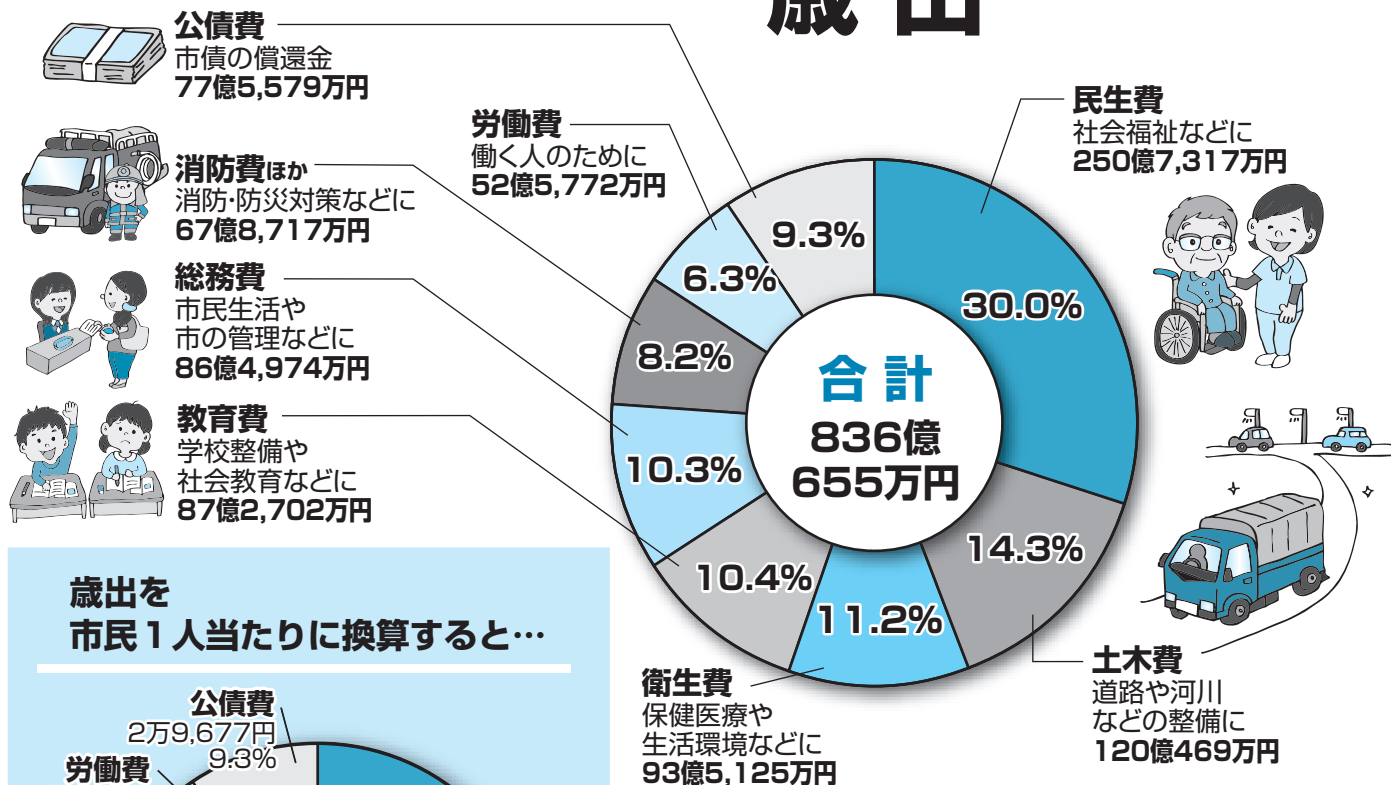


※市民1人当たりの金額は、平成23年3月末時点の富士市の総人口(外国人を含む)26万1,335人をもとにしています(3ページも同じ)。

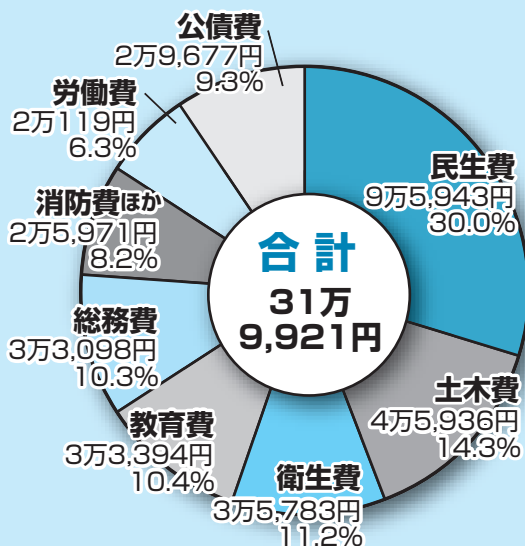
【用語解説】

- 歳入…年度内に入ってきたお金
- 歳出…年度内に使ったお金
- 自主財源…市が独自に徴収することができるお金。市民税、固定資産税、使用料や手数料など。
- 依存財源…国や県などから入ってくるお金。国庫支出金、県支出金、地方交付税、地方譲与税、自動車取得税交付金、市債など。
- 市債…市が大きな建設事業などを行うため、国や銀行などから長期にわたって借りるお金
- 国県支出金…特定の事業の財源として、国や県から交付されるお金。

歳出



歳出を市民1人当たり換算すると...



国や県からの補助金などを活用して、市民1人当たりの市税収入の1.7倍以上の行政サービス（支出）を提供することができました。

歳出のトップは民生費

歳出を目的別に見ると、福祉関係の費用である民生費が30%を占め、最も多くなっています。民生費は、本格的な少子高齢社会の到来を受け、今後も高水準で推移することが見込まれます。

特別会計決算

歳入 505億4,690万円
歳出 497億9,467万円

特別会計区分	歳入	歳出
国民健康保険事業	243億8,745万円	240億1,694万円
老人保健医療事業	781万円	781万円
後期高齢者医療事業	34億7,073万円	34億6,142万円
介護保険事業	135億2,807万円	134億4,588万円
下水道事業	73億7,087万円	73億2,110万円
新富士駅南地区土地区画整理事業	9億9,580万円	9億6,200万円
第二東名IC周辺地区土地区画整理事業	2億4,673万円	2億4,207万円
駐車場事業	8,077万円	7,896万円
公共用地先行取得事業	1億 258万円	1億 258万円

富士市には20の特別会計があります。ただし、表中では財産管理特別会計（全11会計）を省略しています。

企業会計決算

水道事業

事業収益合計 29億3,724万円
事業費用合計 26億4,043万円
純利益 2億9,681万円

病院事業

事業収益合計 129億9,575万円
事業費用合計 126億1,898万円
純利益 3億7,677万円